

平成 29 年度 学校関係者評価記入シート

学校法人クラレット学院

認定こども園うみのほし幼稚園

評価実施日： 平成 30 年 5 月 16 日

関係者評価委員	父母の会 奥井友佳子、藤田有紀、上西小百合 評議員 八百由美子
作成者	片岡 実

① 自己評価について(取組・達成状況、今後の課題設定の適切さなど)

総論

・園の教育基本理念に則った教育目標を踏まえ、年代ごとの子どもたちに合った取り組みを行い、子どもの成長につなげることができている。

教育目標 ①かみさま、ありがとう！

・聖堂でのお話や、お祈りをつうじて神様を身近に感じることができている。
・家庭ではしない神様の話など、カトリック園ならではの教育が、人にやさしくできる、ありがとうの思いや、ほめられると嬉しく自信になること、先生・友だちが大好きという思いを育てており評価できる

教育目標 ②なぜ？ どうして！？ やってみよう！！

・やってみて、褒められ、自信になり、その理由を考え、もっとやってみようにつながる取り組みが実践できており評価できる。
・うみのほしガーデンで野菜を育てクッキングをすることで、家庭でもクッキングに関心・興味を持っている。また、苦手な野菜を食べてみようという気持ちができている。
・友だちが虫にさわのを見て、自分もさわることができ先生に話をしたことを、家庭でも自慢そうにして話をしてくれる。

② その他、園に対するご意見・ご提案等ございましたらお聞かせください

・子どもたちの様子や、保護者からの伝言など、先生たちで共有できており、保護者の安心・信頼につながっている。
・先生方の顔写真付きのボードは、先生方のお顔がわかっていい。
・知識を教え込む勉強型でなく、遊びの中で友だちとの関り(人間関係)を深め、行動し体験する実践教育は継続して取り組んでほしい。
・保護者アンケートでは、「神様がいつも見守ってくださることを感じている」「食事の好き嫌いが減って、マナーが良くなった」の評価がやや低く、取り組みを期待します。
・1号児送迎の保護者としては、先生方や他の保護者とコミュニケーションをとれるが、バス利用や、特に2号・3号児の保護者との連携をとることがむずかしい。
・保育を求めている保護者と、1号児の保護者との間で幼稚園に求めるカトリック園の教育理念の理解にちがいがあある。